

第47回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会開催ご案内

総会開催にあたって

会長 田口 晴彦

(杏林大学保健学部免疫学研究室)

会員の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2014年1月31日(金)2月1日(土)の両日、東京にて第47回日本無菌生物ノートバイオロジー学会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

日本無菌生物ノートバイオロジー学会は1968年に宮川正澄先生、藤原彰夫先生、佐々木正五先生らにより設立され、臨床および基礎医学、動物学、農学領域を「無菌生物学」をキーワードに結んだ学会活動を続けてまいりました。その研究領域は基礎医学、臨床医学、歯学、薬学、農学、生物学、工学など幅広い分野に及び、それら境域の研究者が一堂に会して研究成果を発表する学際的な学会であります。このようなユニークな学会でありますので有意義で闊達な議論ができるものと確信しております。

今回の総会は「常在細菌叢の重要性」をテーマに掲げ、特別講演1題、シンポジウム2題、さらに一般演題より構成いたしました。また、学会会場は東京・市ヶ谷駅より徒歩2分の「アルカディア市ヶ谷(私学会館)」とし利便性を図りました。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

会 期 2014年(平成26年)1月31日(金)～2月1日(土)

会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

Tel: 03-3261-9921(代)

参加費 7,000円 学生1,000円

懇親会費 3,000円

1. 日 程 (一部変更の可能性がります)

会 場	1月31日(金)	2月1日(土)
鳳凰(4階)	13:00 - 開会の辞、総会 13:30 - 14:45 一般演題 15:00 - 16:30 シンポジウム I 16:45 - 17:45 特別講演 17:50 - 18:00 記念写真撮影	9:00 - 9:45 一般演題 10:00 - 12:00 シンポジウム II 12:00 - 12:30 会長賞表彰 閉会の辞
阿蘇(6階)	18:00 - 20:00 懇親会	

特別講演 「IBD領域でノートバイオームを用いたプロバイオティクス科学」

慶應義塾大学医学部消化器内科 金井隆典

シンポジウム I 「腸内細菌叢と肥満・生活習慣病」

座長 東北大学大学院 駒井三千夫

日本大学 細野 朗

シンポジウム II 「除菌適用拡大時代の *Helicobacter* 研究」

座長 杏林大学 大崎敬子

ミヤリサン製薬株式会社 高橋志達

2. 演題申し込み

- a. 対象 本学会会員
(未入会の方は日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務局へご連絡ください)
- b. 締め切り日 2013年(平成25年)10月31日(木)
- c. 申し込み方法 テキスト形式で演題申込書を作成の上、e-mailに添付して、①総会事務局 araek@ks.kyorin-u.ac.jp と、②学会事務所 osaki@ks.kyorin-u.ac.jp の両方にお送りください。
- d. 演題申込書 ①演題、②発表者(演者の前に○を付けてください)、③所属、④抄録、⑤英文演題、⑥英文発表者、⑦英文所属、⑧英文抄録、⑨住所、⑩電話番号、⑪FAX番号、⑫e-mailアドレスを明記してください。
①～⑧を「日程と抄録集」B5版1頁に印刷します。

例)

①演題	本邦におけるヒト及び家畜から分離したNetB毒素産生性 <i>Clostridium perfringens</i> の検出
②発表者	○和田薫子*、高橋志達*、岡健太郎*、田口晴彦**
③所属	*ミヤリサン製薬株式会社、**杏林大学保健学部免疫学研究室
④抄録	(1200字以内) I. 目的(はじめに等) 近年、欧米を中心に <i>Clostridium perfringens</i> の新たな毒素として NetB の存在が・・・ II. 材料と方法等 ブロイラーの糞便 44 検体、産卵鶏の糞便 51 検体、ブタの糞便 18 検体・・・ III. 結果および考察 ブロイラー、産卵鶏及びブタの便検体における <i>C.perfringens</i> の検出率は、・・・
⑤英文演題	Detection of <i>NetB</i> gene in <i>Clostridium perfringens</i> derived from livestock animals and clinical isolate of human in Japan
⑥英文発表者	Kaoruko Wada*, Motomichi Takahashi*, Kentaro Oka* and Haruhiko Taguchi**
⑦英文所属	*Tokyo R&D center, Miyarisan Pharmaceutical Co., LTD., **Department of Immunology, Kyorin University Faculty of Health Sciences
⑧英文抄録	(250 words 以内) NetB produced by <i>Clostridium perfringens</i> was recently reported as a novel toxin and is suggested to be an essential virulence factor for necrotic enteritis, especially in the chicken.
⑨住所	〒114-0016 東京都北区・・・
⑩電話	03-3917-・・・
⑪FAX	03-3917-・・・
⑫e-mail	・・・@miyartisan.com

演題の採否は学会および総会事務局へご一任くださいますようお願い申し上げます。演題が採択されましたら、機関誌「無菌生物」に掲載する原稿をご提出いただきます。詳しくは申し込み後にご案内いたします。

3. 連絡先

- a. 総会事務局 〒192-8508 八王子市宮下町 476
杏林大学保健学部免疫学研究室内
第47回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会事務局
事務局長 新江 賢
Tel 042-691-0011 内線 4127 Fax 042-691-1094
E-mail : araek@ks.kyorin-u.ac.jp
- b. 学会事務所 〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
杏林大学医学部感染症学講座 大崎 敬子
Tel 0422-47-5511 内線 3464 Fax 0422-44-7325
E-mail : osaki@ks.kyorin-u.ac.jp